



～福岡女学院大学・福岡女学院大学短期大学部は地域・社会へ
貢献したいと考え、地域から愛される大学づくりを目指しています～

地域貢献センターは、大学の様々な取り組みと地域・社会の皆様をつなぐことを目的として2019年9月に設置されました。今回の地域貢献センターNEWSでは、2021年度総集号として、今年度の地域貢献関連活動をまとめてご紹介します。

… 不安を原動力へ変える若者たち …

地域貢献センターの役割として大部分を占めるのが地域連携です。地域連携といってもその範囲は広く多様です。文科省の地域連携に関する説明には「より良い学校教育を通じてより良い社会を創る」とあります。社会を創る、創造する、と考えると大学として大切な施策であるといえます。

さて、その中で地域の要請で行われる学生ボランティア活動の参加者数で興味深いデータがありましたので、ご紹介させていただきます。2020年4月の緊急事態宣言などの影響から、この年のボランティア参加学生は6名でした。しかし2021年には47名と増加しています。職員が面談などを通じて感じたのは、学生は将来のキャリアに大きな不安を抱いているということ。これに関しては、必修であるキャリア教育の授業のアンケートでも約8割の1年生が将来に不安と答えています。

また日本赤十字の調査でも、2021年9月の緊急事態宣言解除までの期間におきた若者の心の変化として「何もしたくなくなる、無気力(高校生43.0%/大学生49.0%)」という状態になったことが顕在化したとしています。

このように相反する行動を肯定的に捉えれば、地域貢献センターのボランティアへの参加数が増えていることは、将来の不安を払拭したいという学生たちの気持ちの現れなのではないでしょうか。先が見えにくい社会では、確かに活力が出ず無気力になることは理解できます。しかし一方で、なんとか方向性を見つけ出そうと行動に移す若者がいることも確かなようです。

地域貢献センター長
浮田 英彦



改革総合支援事業 【2年連続】 選定

文部科学省が実施する「令和3年度私立大学等改革総合支援事業」において、タイプ3「地域社会への貢献」(地域連携型)*に選定されました。この度の選定は、昨年度に続いて2年連続となります。本事業への申請にあたりご協力いただいた包括連携先の皆様、地域の皆様、関係教職員の皆様へ心より感謝申し上げます。

選定による補助金交付を受け、教育・研究力を活かした地域貢献活動の取り組みを推進してまいります。



*タイプ3「地域社会への貢献」(地域連携型)とは、地域と連携した教育課程の編成や地域の課題解決に向けた研究の推進など、地域の経済・社会、雇用、文化の発展に寄与する取り組みを支援するものです。

春日市 >> デジタルワークショップ

3月26日(土)、春日市在住の小学4年生を対象に、2021年度 地域連携教育プログラム「デジタルワークショップ アニメーションづくり」を開催しました。

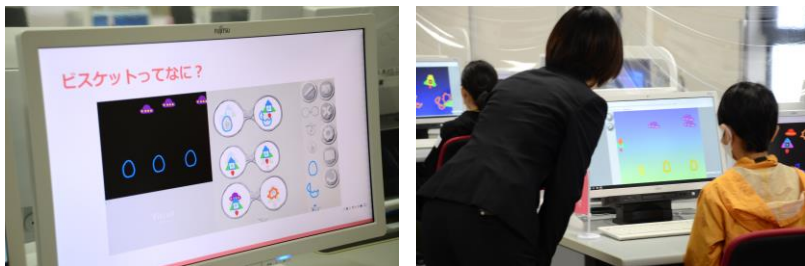
包括連携先の春日市と本学心理学科：藤村先生の緊密な連携のもと、半年以上の準備期間を経ての実施。パソコンでViscuit(ビスケット)というビジュアルプログラミングのアプリを用いてアニメーション制作に挑戦するという内容は大変反響が大きく、急ぎよ開催枠の追加と定員の引き上げを行うほどでした。

自分でプログラムを組んだアニメーションが思い通りに動いたときは、参加した子どもたちから笑顔がこぼれました。



1月時点のチラシ

※ 新型コロナウイルスの感染拡大により1月の実施は見送ったものの、このたび改めて開催することができました。



講師を担当したのは心理学科の3年生、4名。株式会社グローブノーツ テックパーク事業部の協力のもと、チラシの作成やワークショップの準備も行いました。

大野城市教育委員会 >> 大文字体操の楽曲リニューアル

包括連携先の大野城市教育委員会より依頼をいただき、「大文字体操」の新しい楽曲制作を行いました。

ボランティアとして名乗りを上げた心理学科の1年生2名が作曲し、メディア情報課の田代課長が全面的なサポートと編曲を担当。2021年11月から2022年3月まで、大野城市教育委員会スポーツ課およびスポーツ推進委員の方々と何度も話し合いを重ね、協力して制作を進めました。

だいもんじ
◆ 大文字体操とは ◆

大野城市のスポーツ推進委員が作成したオリジナルの体操。さらなる普及を促すため、2022年度の大野城市市制施行50周年にあわせてリニューアル!



スポーツ推進委員の方々と打ち合わせ



サクソス録音



3月29日(火)には本学にて完成報告会を実施。配信される公式動画も、さらに親しみやすく明るい動画にリニューアルされました。

大文字体操 🔍

今後はこちらの動画(楽曲)が用いられ、大野城市の幼稚園・小学校や様々なイベントでの準備体操として広まっていく予定です。ぜひ、皆さんも動画にあわせて体を動かしてみてください。



キーボード録音



アレンジ・編集作業

学生の活動 ～2021年度ボランティア～

地域貢献センターでは、包括連携先を主軸とし、学生の学びにつながる多種多様な学外活動のコーディネートを行っています。学生ボランティアの募集は2021年4月から開始し、50名近くの学生と依頼元の各機関をつないでまいりました。コロナ禍で多くの活動が制限される中での貴重な機会として、学年や学部学科を越えた出会いの場として、また、夢や目標に向けた第一歩として、学生たちがボランティア等の学外活動に強い興味関心を寄せていることを実感した1年でした。

ランドセルクラブ <大野城市教育委員会>

ランドセルクラブは、学校・家庭・地域が連携して子どもを育てる「PTCA活動」の一つとして、大野城市内の小学校にて実施されている放課後総合学習の場です。

ボランティアに応募した学生は学部・学年を越えたチームを作り、クラブで行う体験活動の企画立案と現地での講師をつとめました。今般の事情により活動回数は減ってしまいましたが、数か月にわたって準備を進めた学生の企画は大好評で、お礼のお手紙もいただきました。



音楽に合わせて身振り手振り



秋の工作

地域貢献はもちろんですが、子どもたちを喜ばせるため、子どもたちと関わった仕事に就きたいと考えて参加しました。他学部の学生と企画段階から協力することで、チームワークも身につきました。

子どもたちから「先生、こんな楽しい企画を考えてくれてありがとう！」と言われたときには涙が出そうになりました。

学生の声

一生懸命な表情や、ワクワクしながら工作する子どもたちの様子が見れて嬉しかったです。企画側が一生懸命だと、子どもたちも一生懸命に取り組んでくれました。何事も丁寧に、心を込めることの大切さに気づきました。



写真とイラスト入りのお礼のお手紙

【今回考案した体験活動】

秋の宝物を使った工作／体力づくりチーム対抗戦
えほんづくり／バスボムづくり／ミニ運動会
音楽に合わせて歌いながら身振り手振りをしてみよう

ヤングアドバイザー <大野城市教育委員会・那珂川市教育委員会>

大野城市教育委員会・那珂川市教育委員会とは、それぞれヤングアドバイザー派遣に関する覚書を締結しており、小中学校または適応指導教室にて、学習や体験活動の支援員として継続的に活動中です。

ヤングアドバイザーとして参加しているのは、教職課程または心理学科の2～4年生。学習サポート、調理実習、スポーツなどの体験活動のほか、ハイキングやアイススケートなどの校外学習にも参加。様々な場面における、小中学生との関わり方を学んでいます。

福岡市以外の小学校現場を見ることができ、とても勉強になりました。また、先生方の授業を間近で見て、タブレットPCの使い方や発問の仕方でも学ぶことができました。

学生の声

はじめは距離があった生徒たちとも徐々に信頼関係を築き、話しかけてくれるようになってきたのが嬉しいです。心理実習で学んだことを現場で活かせるよう模索しています。先生方も良い方たちばかりで、とても良い環境で活動させていただいていることを実感しています。

学校支援ボランティア・学び場支援スタッフ <小郡市>

小郡市からは、学部学科を問わないボランティア派遣の依頼をいただき、小中学校にて次のような活動に参加しています。対象学年は活動現場によって異なり、学生たちは各々の場所で幅広い経験ができたようです。

【学校支援ボランティア】小中学校における、授業・部活動・放課後学習などのサポート

【学び場支援スタッフ】 BBクラブ : 小学校での遊びと学びの見守り

チューター : 中学生を対象とした学習指導や見守り



小学1・2年生の授業で、声掛けや丸付けなどのサポートをしました。コーディネーターさんや現場の先生方が丁寧にご指導くださり、楽しく活動できました。

自分が担当した中学生が、今まで解けなかった問題を解けるようになっていた時には達成感とやりがいを感じました。

学生の声

地域の方々も多く参加していて、市民が一丸となって学校支援の活動を支えていると感じました。自分も地域を支える一員であるという意識が一層強くなりました。

元気いっぱいニコニコと話しかけてくれ、私自身も元気をもらっています。高校の教員免許取得を目指していましたが、BBクラブに参加したことで小学校も視野に入りました！

おごおり多文化共生推進大会 <小郡市>

12月11日(土)、小郡市生涯学習センターで開催された「おごおり多文化共生推進大会」にて、8名の学生が運営補助スタッフとして参加。特に国際キャリア学部の学生から大きな反響がありました。

在福岡ベトナム社会主義共和国領事の記念講演、多文化共生絵画コンクールの入賞作品発表、市の紹介映像の発表などが行われ、受付・会場案内・司会進行・映像投影など様々な形でイベントを支えました。

イベント運営に携わったことで、初めて小郡市を訪れた私自身も小郡市について知ることができました。働く体験ができただけでなく、学部や学年を越えた友達も作れました。

学生の声

ベトナムの方の対応をする中で、わかりやすい日本語を使って話したりジェスチャーを活用したりと、相手を思いやったコミュニケーションを学びました。

KASUGA KIDS DREAM 動画ナレーション <春日市>

春日市からは、憧れの職業を体験する子どもたちを動画で紹介する企画の動画ナレーションについて依頼をいただき、本学125周年記念館3階のコンテンツ編集室にて収録を行いました。言語芸術学科の2年生がナレーションを担当した動画は、YouTubeの春日市公式チャンネルで配信されています。



収録風景

花壇づくり <須玖小学校>

本学からほど近い場所にある須玖小学校からは、2022年度の創立50周年記念事業として行う花壇づくりの協力依頼をいただき、7名の学生がボランティアとして活動中です。

PTA実行委員会の方や環境委員会の児童と、行事にあわせた華やかな花植えやメンテナンスなどの作業を進めていく予定です。



卒業式に向けて

学生の声

中学校の先生・市役所の方・中学生・地域貢献センターの方など、様々な立場、年齢の人と交流しながらの活動はとても刺激になりました。▼小中学校での支援以外にも、老人ホームやケアハウスなどご年配の方々と関われる活動があると、進路選択を前にした大学生が業界を知る良いきっかけになるのではないのでしょうか。▼新型コロナの感染拡大により大学への登校さえ制限される状況が続きましたが、ボランティア活動を通して多くの学びを得られました。今後も地域に貢献できるような活動が続いてほしいと思います。(国際キャリア学部3年 Hさん)

各包括連携先に関わる主な活動 ～2021年度～

包括連携先	活動時期	内容
朝倉市	8月～10月 10月13日 通年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秋月さるきマップに追加された施設説明の英訳ボランティアに学生2名が参加 ・ 包括連携協議会実施 ・ 現代文化学科池田ゼミとキャリア開発教育センター吉松次長があさくら観光協会と連携し、伝建地区「秋月」を活用した小中学校と連携したワーケーションプログラム事業等を実施
福岡市 南区	7月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習センター長：桜川先生が「南区子ども大学2021」で講座を担当
小郡市	6月27日 10月～11月 10月20日 通年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第6次小郡市総合振興計画策定のためのワークショップ（オンライン）に小郡市在住の学生1名が参加（Vol.3参照） ・ 市民講座「小郡ゼミ」の講師を生涯学習センター長：桜川先生、生涯学習センター：清原先生が担当（Vol.3参照） ・ 包括連携協議会実施 ・ 学校支援ボランティア・学び場支援スタッフ・「おごおり多文化共生推進大会」運営ボランティアへの学生参加（P.4参照）
古賀市	4月30日 6月～8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNS等を活用して古賀市のPRを行う事業者の選定委員をメディア・コミュニケーション学科：忠先生が担当 ・ 古賀市の「国民健康保険」に関する案内文書をベトナム語、ネパール語に翻訳するボランティアへ留学生が参加（Vol.3参照）
春日市	4月26日 9月～10月 7月～12月 12月 3月26日 2月～	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校における危機管理モデルの構築に関する協議会を実施 ・ 本学全教育課程についての意見聴聞 ・ 市制50周年記念事業の市民実行委員会に心理学科藤村ゼミ3年生が参加 ・ 「KASUGA KIDS DREAM」ナレーションへの学生参加（P.4参照） ・ デジタルワークショップ開催（P.2参照） ・ 新成人を対象とした選挙啓発チラシを心理学科藤村先生の「心理学フィールドワークキャリア」受講生1名が制作中
粕屋町	通年 6月18・25日 7月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども発達学科：松尾先生がかすやこども館運営協議会の委員を担当 ・ 子ども発達学科：松尾先生が支援と必要とする児童への保育指導についての研修会にて講師を担当 ・ 子ども発達学科：松尾ゼミが粕屋町立中央保育園での交流活動に参加
大野城市教育委員会	1月20日 11月～3月 通年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市制50周年を祝う写真とメッセージの提供→1月24日に大野城市ホームページ掲載 ・ 大文字体操の使用楽曲制作（P.2参照） ・ ランドセルクラブ・ヤングアドバイザーへの学生参加（P.3参照）
那珂川市教育委員会	7月18日 12月9日 通年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生対象の「オンライン イングリッシュデイ」に短期大学部2年生4名とブライセチ先生が参加（Vol.3参照） ・ 生涯学習センター：清原先生が令和3年度歴史特別講演会の講師を担当 ・ ヤングアドバイザーへの学生参加（P.2参照）
鳥栖市教育委員会	5月～2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代文化学科：池田先生・キャリア開発教育センター：吉松次長・DNPプランニングネットワーク様が連携し、池田ゼミ4年生が鳥栖市の観光周遊パンフレットを作成
佐賀市教育委員会	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域貢献センター長：浮田先生が令和3年度の佐賀市教育委員会評価委員を担当
認定NPO法人 未来創造ハピネス	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校における危機管理に関して意見聴聞
NKコンサルティング	9月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 篠栗町、久原本家等の今後の連携について学長と面談

中学生・高校生『夢』語りコンテスト

福岡花ライオンズクラブ様が長年主催されてきた「夢語りコンテスト」で伊藤学長が審査委員長・審査委員を務めていた経緯があり、同名義のコンテストを本学が引き継いで実施いたしました。このコンテストは、将来の夢を実現する方法等を中学生・高校生がプレゼンテーション形式で発表するものです。

今般の事情を考慮し、実施体制を対面からオンラインへ変更しての開催となりましたが、今やネットワークを介したコミュニケーションや動画の活用は当たり前の時代。『伝わる』コミュニケーションの力をつけることはもちろん、オンラインならではの工夫や動画活用の可能性を模索した本コンテストでの経験を、今後の学びに繋げていただけましたらこの上なく幸いです。



2021(令和3)年度 第1回 中学生・高校生『夢』語りコンテスト～伝わるプレゼングランプリ～

2021年11月10日(水)	応募受付開始 応募総数65チーム(94名)!
2022年 2月10日(木)	1次審査結果発表 中学生12チーム・高校生8チームが厳正な審査を勝ち抜きました!
2月26日(土)	ブラッシュアップセミナー実施(オンライン) 浮田先生によるプレゼンテーション入門講座/本学3・4年生によるプレゼン対決/質疑応答
3月12日(土)	本大会開催(オンライン) 中高生による事前提出の発表動画再生/リアルタイムでの質疑応答 グランプリ・準グランプリ・福岡花ライオンズクラブ賞・西日本新聞社賞・優秀賞を授与

本コンテスト実施にあたり、前回までの後援先や、本学の包括連携先に後援いただきました。誠にありがとうございました。

【共催・協賛】福岡花ライオンズクラブ 【後援】朝倉市/小郡市/春日市/粕屋町/古賀市/篠栗町/福岡市南区/福岡県教育委員会/大野城市教育委員会/春日市教育委員会/佐賀市教育委員会/篠栗町教育委員会/鳥栖市教育委員会/那珂川市教育委員会/福岡市教育委員会/西日本新聞社/NHK福岡放送局/公益財団法人福岡市文化芸術振興財団/認定NPO法人未来創造ハピネス

地域貢献センターの活動状況を掲載中!
こちらから大学ホームページをご覧ください

リンク

【2021年度 of 取組事業】



ボランティアやセミナーの情報を随時公開!

包括連携先を主軸とし、学生の学びにつながる多種多様なボランティアやセミナーの案内を行っています。
興味のある方はぜひご参加ください。

メール・Mission-Net掲示板・地域貢献センター前の貼り出しチラシをお見逃しなく!

福岡女学院大学
福岡女学院大学短期大学部
地域貢献センター

〒811-1313 福岡市南区日佐3-42-1 125周年記念館 1F
TEL: 092-575-6154 (内線: 721) E-Mail: rcc@fukujo.ac.jp
受付時間: 月～金 9時～17時30分 リンク: 地域貢献センター

